**２０２５年度 ヤングリーダー研究奨学金　推薦書**

**1） 推薦者情報**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **推薦者氏名** | **印** | **所属学部・学科** |  |
| **電話番号（内線）** |  | **メールアドレス** |  |

**2） 被推薦者情報**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **被推薦者氏名** |  | **所属研究科** |  |
| **被推薦者の研究****題目（研究分野）** |  |
| **被推薦者との関係** |  | **被推薦者への指導期間** | **年　　　ヶ月** |

**3） 被推薦者について、以下のそれぞれの評価項目に対し、1～4の何れかの該当する欄に○印を付けてください。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | **非常に優れている** | **優れている** | **やや劣る** | **劣る** |
| **深い教養** | 4 | 3 | 2 | 1 |
| **高度の専門性** | 4 | 3 | 2 | 1 |
| **世界に貢献する高い志** | 4 | 3 | 2 | 1 |
| **人間力** | 4 | 3 | 2 | 1 |

**4） 「被推薦者の学術的/専門的な長所と短所」「被推薦者のこれまでの研究活動」「ヤングリーダー研究奨学金受給による今後の研究活動への期待」等の観点から、以下に総合評価をご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

**5） ヤングリーダー研究奨学金への推薦を（該当するものに☑チェックをしてください）**

**□自信を持って強く推薦する　　　　□推薦する　　　　□本人の希望を尊重して推薦する**

以上

（ご参考）ヤングリーダー研究奨学金について

ヤングリーダー研究奨学金は、申請にあたり指導教員からの推薦書の提出が義務付けられております。推薦書は、当研究奨学金の選考にのみ利用します。推薦書は厳封の上、申請者へお渡しください。以下にヤングリーダー研究奨学金の公募要領（https://waseda-research-portal.jp/research-fund/sylff/）より、制度の趣旨等を抜粋して記載しております。

**設立趣旨：**

ヤングリーダー研究奨学金は、日本財団と東京財団政策研究所、早稲田大学が共同で行う研究奨学金プログラムで、国際性豊かなリーダーの育成を目的に、世界の主要な大学でおもに人文社会科学分野を研究する大学院生を対象としています。Sylff（The Sasakawa Young Leaders Fellowship Fund Program）プログラムに関しては「Sylffプログラムについて」を参照してください。

**求める人物像：**

深い教養・高度の専門性・人間力を備え、世界に貢献する高い志を持って、社会で指導的な役割を果たすリーダーとして、将来活躍することが期待できる人材

**申請資格：**

① 早稲田大学大学院研究科修士課程、専門職学位課程または博士後期課程に在籍する正規学生で、支給期間を通じて学籍を有する者。

② 人文社会科学に基づく研究によって、世界が直面する経済発展、社会システム、国際関係、人権、環境、情報、異文化理解等の諸問題に取り組み、かつ将来にわたって各界のリーダーになりうる資質を有する者。

③ 支給期間中に留学している学生は除く。

④ 原則として２０２５年４月１日現在３５歳以下の者を優先。

**支給期間：**２０２５年６月～２０２７年３月

※２０２６年３月までに修了・学位取得見込みまたは研究指導終了による退学予定の者は、２０２５年６月～２０２６年３月を選択すること。　２０２７年３月は選択不可。

**支給額：**原則として２０，０００米ドル／人

（初・次年度に各１０，０００米ドルを支給します。ただし、次年度については、初年度終了時の中間報告に対する審査後、支給可否を判断します。）

※２０２５年６月～２０２６年３月を選択した者は、１０，０００米ドル。

※２０，０００米ドルの希望で応募しても、選考の結果、１０，０００米ドルの支給のみで採択される可能性があります。

**採用予定人数：** 1名程度

**Sylffプログラムについて：**

国家・宗教・民族などのあらゆる諸問題が複雑化・多様化する現代社会において、文化や価値の多様性を尊重し、人類の共通の利害のために行動する人材を育てるグローバルなプログラムです。日本を含む世界44ヵ国、69の大学・大学連合の、おもに人文社会科学分野を研究する大学院生を対象に奨学金を授与しています。将来を担うリーダーとしての資質を重視して選ばれた奨学金受給者（Sylffフェロー）は、16,000名を超え、その多くが様々な分野で活躍しています。

Sylffプログラムの創設から30周年を迎えた2017年、Sylff Associationが発足されました。これは世界に広がるフェロー、69大学の運営委員会メンバー、Sylff基金の寄贈者である日本財団そしてSylffプログラムを運営している東京財団政策研究所が、Sylffというアイデンティティのもと、末永く緊密な関係を構築していくことを目的としています。これによりSylffフェローは、様々な知恵や経験を共有し相互の絆を深めるサポートプログラムに参画することができます。

Sylffフェローは、Sylff Associationメンバーとして、当研究奨学金の受給後も、海外研究活動支援をはじめとする様々なサポートプログラムに参画することができます。現役・既卒のフェローが様々なステージで、自身の知恵や経験を高め、世界のフェローと共有し相互の絆を深めることを目的としたものです。

Sylff Associationプログラム　https://www.sylff.org/

東京財団政策研究所　https://www.tkfd.or.jp/

※直接学生に奨学金を提供するのではなく、寄贈された基金の運用益を使って、大学独自の運営委員会の決定により、学生に研究奨学金を提供する点に特徴があります。

**お問い合わせ先：研究推進部　湯谷・布目・中村（内線：79-2130）**